



確信を持って生きる

アリシア・カトリーナ

こんにちは。私の名前はアリシア・カトリーナです。オーストラリアのメルボルンに、母のリーラーヴァティーと一緒に住んでいます。

2018年、私が16歳の時、セーヴァーをささげるために母と一緒にメルボルンの家からシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムへ旅をしました。私がささげていたセーヴァーは音楽部門でのボーカル担当でした。

グルマーイの誕生日の前日のこと、グルマーイがアーシュラムの敷地内を歩いていました。グルマーイを見た時、私は友人と一緒にいました。友人は、すぐさま彼女にあいさつをしようと走って行きました。

私はグルマーイに手を振りましたが、こんにちはと言うために友人と一緒に行くことを、一瞬ためらいました。私がグルマーイの所まで行くと、彼女は私に、私は友人のように「勇敢である」必要があると言いました。

その日の午後、私はグルマーイとのサツツァングに参加しました。ある時点で、グルマーイは私がミュージシャンたちと一緒に座っていないことに気づきました。彼女は私になぜかと聞きました。私は、自分がどこにいるべきかよく分からなかったからと言いました。

これを聞くとグルマーイは、私に「確信を持ちなさい」と言いました——それは、私にとって、「勇敢でありなさい」ということであり、なぜなら本当は、私は自分がどこにいるべきかを知っていたからです。

私は立ち上がると歩いて行ってミュージシャンたちに加わりました。すると、グルマーイは嬉しそうに笑いました。

私は、自分自身と自分の行動に確信を持つための方法として、「勇敢でありなさい」というグルマーイの指示を受け止めました。「勇敢な」という言葉——そして勇敢であるという感覚——は、16歳のその時から今に至るまで、私が持ち続けてきたものです。私は最近18歳になり、今年の終わり、11月には学校を卒業する予定です。これらの未熟な時期に、そして高校から成人へと移行する時に、私はグルマーイの私への言葉、「勇敢でありなさい」を忘れずにいます。

グルマーイの言葉は私に、私の個性と強さを表現する方法で行動し、存在することを思い出させます。これは、変化に対処することをずっと楽にしてくれました。なぜなら、もし「勇敢であり」続けるならば、私は真に私自身とつながっているからです。これは私に素晴らしい精神的なたくましさを与えています。

グルマーイ、私の毎日を支えてくれる、この真珠のように貴重な教えを本当にありがとうございます。

私が大好きな歌の一つにこうあります。

(彼女は歌います)

何が言えるでしょう、他に何が言えるでしょう、

私は祝福された、祝福されたという以外に。

オーム・グル、おお、私のグル、おお、私のグルマーイ…

オーム・グル、おお、私のグル、おお、私のグルマーイ…

ありがとうございます。



© 2020 SYDA Foundation®. 著作権所有。